大陽日酸 The Gas Professionals

THE KAITEKI COMPANY 三菱ケミカルホールディングスグループ

すべては、安心と信頼のために。

大陽日酸は、徹底した製造管理および品質管理のもとに、医療機関や在宅医療のための医療用ガスや機器・装置、ガン診断薬の原料となるWater-^{18}O、最先端分野の研究機関向けに液体窒素凍結保存容器など、高品質な製品を常に安定供給しています。さらに、より良い製品の開発に注力し、新製品の提供に努めています。

医療機関や在宅医療向けに安全・確実な医療ガスの供給をお約束します。

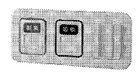
在宅酸素療法関連商品

小型酸素濃縮装置 オキシウェルポータブル

液体酸素装置 ほたる

医療ガス供給機器関連商品

OXYMEDシリーズ



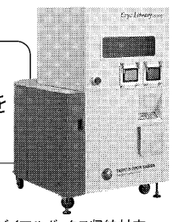
ウォールアウトレット（プッシュリリースタイプ）

自動マニフォールド

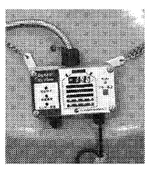
PETガン診断薬の原料となるWater-^{18}Oを生産しています。

安定同位体 Water-^{18}O

多種多様な液体窒素凍結保存容器・関連商品を取り揃えています。



バイアルボックス収納対応 細胞全自動凍結保存システム クライオライブラリー®アドバンス



小型凍結保存容器用液面監視装置 Optical N_2 View（オプティカル エヌツービュー）

大陽日酸株式会社 メディカル事業本部 東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg. 〒142-8558 TEL 03(5788)8340 FAX 03(5788)8710 http://www.tn-sanso.co.jp

バイオ・メディカル事業部 http://www.tn-sanso-biomedical.com/ SI事業部 http://stableisotope.tn-sanso.co.jp/

化学の力で、今日ないものを明日の価値として産み出したい。
UBEはオリジナリティに富んだケミカル製品、健康に貢献する新薬、
環境にやさしいリサイクルシステムなどを開発してきました。
その創造力を支えているのは、創業以来のチャレンジ精神。
人々の夢を道しるべに、未来へ向かってどんどん加速しています。

技術の翼 革新の心 Wings of technology Spirit of innovation UBE

宇部興産株式会社 〒105-8449 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館 TEL.(03)5419-6110 http://www.ube.co.jp

農薬 海外展開を本格化

国内化学各社はヘルスケアとともに農薬事業を次世代収益源に位置づけている。世界人口の増加で1人当たりの耕地面積が減り続ける中、効率的な食料増産に貢献する農薬の需要が国際規模で高まってきたからだ。特に需要増が期待できる南米やアジア市場を取り込もうと、海外拡販に向けた一手を次々に打ち出した。

南米・アジアで需要増

資本提携進め販路拡大

国内農薬最大手の住友化学は遺伝子組み換え大豆用種子の最大手である米モンサントと南米で提携拡大に動いた。モンサントの大豆用除草剤が効きにくい雑草に効果的な除草剤として住友化学の除草剤「フルミオキサジン」の使用が米国で推奨されてきたが、このほどブラジルとアルゼンチンでも同様の使用推奨が決まった。

これにより世界1―3位の大豆生産国でモンサントとの協業を実現。世界の大豆生産量の8割をカバーすることになった。モンサントの販路を通じた拡販で、2017年にブラジル、アルゼンチンで年商150億―200億円を見込む。15年度までに大分工場（大分市）のフルミオキサジン生産能力も現状比5割増にする。

ブラジルの13年の農薬市場規模は08年比69%増の100億ドル（約1兆2000億円）と米国を抜き世界最大に拡大した。アルゼンチンも同70%増の17億ドル（約2040億円）となるなど急成長する南米市場の取り込みが農薬各社の成長に欠かせない。それだけにモンサントとの提携は農薬事業の拡大に大きなプラスとなる。

住友化学は16年度にも新規農薬の実証を行う試験農場をブラジルに新設する。南半球での自社農場は初めて。大豆に加え綿花、トウモロコシ、サトウキビを栽培しながら自社開発した新規農薬や農業資材の評価を行う体制整備にも乗り出す。

日本農薬もブラジル市場で攻勢をかける。14年9月、イタリアの農薬大手シプカムのブラジル子会社に50%出資した。インドでも中堅農薬メーカーのハイデラバード・ケミカルを子会社化した。

いずれもジェネリック（後発）農薬の製造を手がける企業で、今後は日本農薬が開発した農薬を低コストで現地生産し、いずれは周辺地域に輸出する計画も描いている。有力な現地パートナーの発掘で成長市場にくさびを打ち込んだ格好だ。

日本農薬は18年9月期に14年9月比約75%増の売上高1000億円を目指している。18年9月期までにインドとブラジルでの資本提携を含めた積極投資で目標達成につなげる。

クミアイ化学工業は直播水稲用除草剤「ノミニー」がインド向けで販売が伸びた。米国でもトウモロコシや大豆などを栽培する畑作用除草剤「ピロキサスルホン剤」や「サターン」の販売が好調で、14年11月―15年4月期の売上高386億円（前年同期比10・1%増）につなげた。

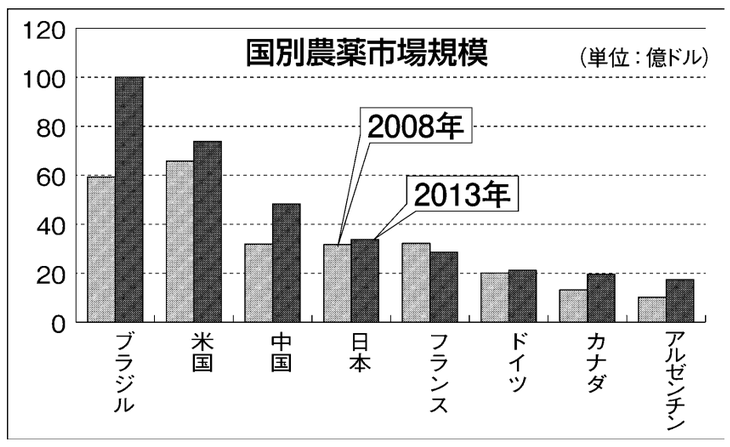
住友化学大分工場のフルミオキサジン生産設備

国内は省力化向け

一方、成熟市場となった国内では農業従事者の高齢化に伴い、農作業を省力化できる農薬の開発が進んでいる。中でも水稲用の豆粒型除草剤は、散布量が錠剤型の約4分の1で済む。比重が水よりも小さく、散布後は水田の水面上に薬剤の膜を自動的に形成しながら均一に拡散するため、作業を大幅に効率化できる。

環境負荷を軽減できる農薬の開発も加速しており、薬剤の飛散を抑制できる微粒剤Fが注目を集めている。散布時の舞いあがりが少ないため、薬剤を浴びたり吸入したりするリスクを低減。人家など周囲への影響を抑えることができる。

このほか、自然界に生息する菌を用いて害虫を駆除する微生物農薬の研究も本格化してきた。住友化学は約128億円を投じて米国に微生物農薬の原体工場を新設した。微生物によって植物の成長を調整し乾燥や温暖化が与える影響を緩和する環境ストレス耐性付与剤の開発も新工場で強化する。



ライフサイエンス

写真の棚田は、クミアイ化学工業が賛助会員として支援する静岡県菊川市のせんがまち棚田です。

いのちと自然を守り育てること

私たちの変わらぬ永遠のテーマです。

クミアイ化学工業は、「いのちと自然を守り育てる」のテーマのもと、
地球規模の問題である「食糧の確保」および「環境の保全」に
貢献できる企業を目指して、日々挑戦をしております。
安心・安全な農業生産に寄与し、豊かな自然環境を未来の世代に残すため、
私たちは行動しております。

代表取締役社長 小池好智

自然に学び 自然を守る クミカ

クミアイ化学工業株式会社 本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 03-3822-5036 http://www.kumiai-chem.co.jp

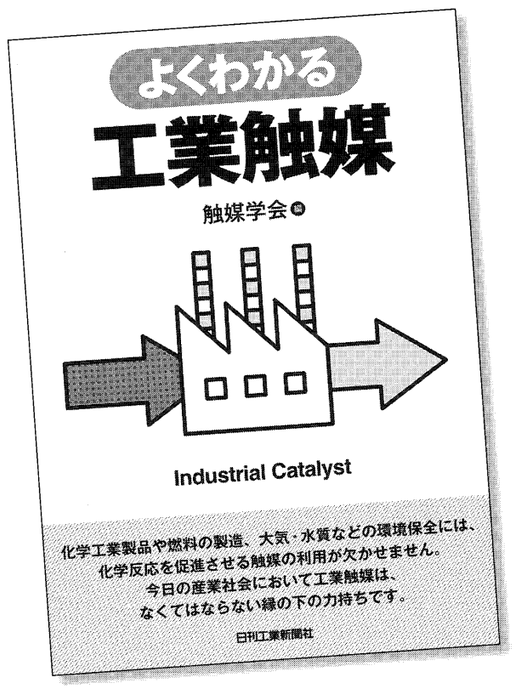
よくわかる 工業触媒

触媒学会 編 ●A5判 ●定価2,376円（税込）

化学工業製品の製造には、化学反応を促進させる触媒の利用が欠かせない。また、燃料の製造や大気・水質などの環境保全においても触媒は重要な役割を果たしている。今日の産業社会にはなくてはならない縁の下の力持ちである工業触媒の基礎と応用を解説する。

◆主な内容

■第1章 触媒の基礎知識
■第2章 触媒の種類
■第3章 化学産業の触媒（1）水素と酸素が関わる反応
■第4章 化学産業の触媒（2）その他の基本反応
■第5章 これからの工業化学プロセスと触媒
■第6章 エネルギー・環境と触媒
■第7章 こんな分野でも活躍する触媒



◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL 03(5644)7410 http://pub.nikkan.co.jp/ FAX 03(5644)7400